

新宮山彦ぐるーぷ第2271回

持経宿・平治宿巡回整備

実施日 1月14日(日) 晴

参加者 沖崎吉信、湯川一郎 2名

2〜3日前、湯川君から持経行の提案があった。一か月程行つてないし両小屋、奥駈道、池郷林道の状態も気になる。そして、169号線の崩土通行止も長期となるようで、しばらくは村吉、梶野の両氏も訪問は無理だろうと思い実行することとした。

8時半過ぎに下北山スポーツ公園に着く。トイレ清掃に来た若者の話では通行できるようになるのは早くてゴールデンウィーク前、来村客もさっぱりで、檀原市へ行くのも十津川か三重県回りとなり、従来の倍の時間が必要、などとぼやいていた。今から池郷林道に乗入れ持経宿に行くと言ったら、びっくりしていた。

池郷林道はゲートまで19分で着く。小石の落石はあるがいつもと同様だ。その先も持経宿までも30分強で着いた。7〜8回降車して落石処理したが、大物や多数の落石はなかった。計1時間弱だった。

持経宿不動堂の窓を半開きにして風を通す。薪もあまり減った様子がなく、来宿者もなかったようだ。すぐ平治宿へ出発、千年檜の祠も風を通す。1時間6分で平治宿に着く。途中直径15cm位の斜木一本を処理したが平常通りだ。

昨日かなりの風が吹いたためか、屋根上の煙突上部のH型が針金

1本で小屋横にぶら下がっている。修理しようにも屋根上うつすら雪が残り滑りやすく、登るのは危険なのでストーブを使用禁止にした。こも正月をはさんでの利用はなかった様だ。ほかに異常も認められず30分弱で引き上げた。



根元から引き抜いた



煙突折れ部分



ぶら下がった煙突

1時間の歩行で持経宿へ戻り、昼食をとる。午後は持参のスノコを毛布下にセットし、風通しよくする処理を行う。主目的もクリアし下山帰宅した。

今年コロナも沈静化し、NHKの放映もあり、多くの来山者が予想されるが、国道169号線の崩土通行止めが、どの程度影響あるか不透明だ。
(記：沖崎)

行動タイム

新宮 7:35→8:45 下北山スポーツ公園 9:00→9:55 持経宿 10:04→11:10 平治宿 11:33→12:34 持経宿 13:15→15:25 新宮